

2026 新春号

vol.141

広報誌

躍進

やくしん

題字：前理事長 嶋田 國重

特集

- 整形外科センターの紹介
- 充実した救急医療体制の構築



フォローをお願いします。



社会医療法人シマダ



Director of a Hospital



院 長

島田 幸典
こう すけ

新年あけましておめでとうございます。

平素より嶋田病院をご利用いただいている患者さん、ならびに地域で医療を共に支えてくださっている先生方に、心より御礼申し上げます。

2025年を振り返りますと、当院は引き続き「地域の救急を断らない」姿勢を大切にしながら、日々の診療に全力で取り組んでまいりました。専門外来、救急外来、入院診療、検査・リハビリテーション・在宅支援に至るまで、多職種が力を合わせ、一人ひとりの患者さんと向き合うことができた一年であったと感じています。

年末年始を含め、昼夜を問わず現場を支えてくれた職員の努力、そして当院を信頼し、紹介して下さった地域の先生方のご支援があつてこそ、今の嶋田病院があります。改めて深く感謝申し上げます。

医療を取り巻く環境は年々厳しさを増し、人口構造の変化、医療人材の確保、医療と介護の連携など、多くの課題に直面しています。しかし、そのような時代だからこそ、地域に根ざした病院の役割は、これまで以上に重要になると考えています。

2026年、嶋田病院は「地域の命と暮らしを支える病院」として、救急医療を柱に据えながら、急性期から回復期、在宅へと切れ目なくつながる医療を、さらに磨いてまいります。また、地域の開業医の先生方との連携をこれまで以上に大切に、顔の見える関係の中で、安心して患者さんを託していただける病院であり続けたいと考えています。

本年も、患者さんにとっても、地域の先生方にとっても、「この地域に嶋田病院があつて良かった」と思っていただけのように、職員一同、誠実に歩んでまいります。

2026年が皆さまにとって、健やかで実り多い一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

あなたの『できる』をもっと広げる

嶋田病院の整形外科センター

階段の上り下り、億劫になっていませんか？

膝の[SOSサイン]チェックリスト

年齢を重ねることで膝の負担が高まり、日常生活に支障をきたしている場合があります。大事になる前にまずは自己診断でセルフチェックをしてみてください。



①	膝を曲げたりのばしたりしていると、膝の中でゴリッゴリッ、コツコツ、ギュッギュッといった音がある	はい	いいえ
②	階段をおりているときに、不意に膝の力がカクンと抜けてしまう	はい	いいえ
③	和式トイレのあと、立ちあがるのが苦痛。正座も苦痛である	はい	いいえ
④	膝が完全にのびきらず、平らなところで足をのばしても膝の裏が床にぴったりつかない	はい	いいえ
⑤	以前は「がにまた」ではなかったのに、「気をつけ」の姿勢をとると、両膝のあいだがこぶし1つ分離れる	はい	いいえ
⑥	正座がまるっきりできない	はい	いいえ
⑦	運動をし始めの時には膝が痛むが、続けていると痛みが取れていることが多い	はい	いいえ
⑧	膝を曲げると、おさらの上が張った感じがして、少し膝が腫れている感じがする	はい	いいえ
⑨	片手でふとももから膝に向けてしごいて、片方の手でおさら部分を押すと、おさらがコツコツ浮いた感じがする	はい	いいえ
⑩	左右の膝のかたがが違う	はい	いいえ
⑪	おさらが外側にずれているような感じがする	はい	いいえ
⑫	膝がガクガクするので、いつも不安定	はい	いいえ

※東京女子医科大学東医療センター 整形外科・リウマチ科 引用

チェック結果

1～3の症状は、半月板という膝の軟骨が断裂したときによくある症状です。4～7の症状は、変形性膝関節症と診断されることが多く、これは老化現象による症状です。8～10の症状は、膝の中に水がたまっている可能性があります。変形性膝関節症や関節リウマチの典型的な症状です。11～12の症状の場合は、膝の靱帯が切れている可能性があります。膝蓋骨亜脱臼や膝不安定状態のときによく見られます。

気になる症状がある方は、ぜひ整形外科への受診をご検討ください。

当院の場合、膝治療を専門としている整形外科部長の野村医師を始めとする整形外科チームで診察を行わせていただきます。

■整形外科医 外来診察日

〈専門部位〉

	月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜	土 曜
午 前	 野村 智洋 〈膝〉	 植田 博也 〈一般〉	 野村 智洋 〈膝〉	 植田 博也 〈一般〉	 春島 慎之介 〈一般〉	 幸 博和 〈脊椎・脊髄〉
	畑 直文 〈肩〉	九州大学整形医	 島田 哲郎 〈膝〉	 市村 竜治 〈膝〉		
午 後	畑 直文 〈肩〉	九州大学整形医	 島田 哲郎 〈膝〉	 市村 竜治 〈膝〉		 幸 博和 〈脊椎・脊髄〉

第2・4水曜日午後 骨粗鬆症外来(木村一雄)

予約・お問い合わせ Tel.0942-72-2236 (代表) ご予約は月～土 14時～17時にご連絡ください。

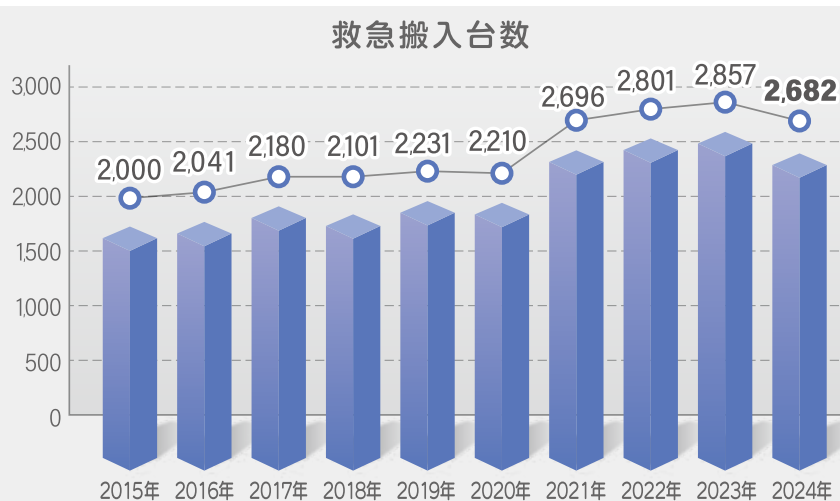


充実した救急医療体制の構築

日本の人口動態として全国的に高齢化が進んで来ています。

当院は開設者の嶋田國重がこの地で医療を行っていく上で大切にしていた「**病気に盆も正月もない**」という想いを全職員が受け継いでおり、日々の診療にあたっています。

年々、救急搬入台数も増加しており、2021年には2500台を超えてきました。24時間365日の救急体制と断らない医療を実践するために、昼夜問わずに受け入れ体制を構築しています。2025年11月からは救急専門医でもある徳田 隼人医師を迎え入れ、更に充実した救急医療体制を構築しています。



救急告示病院

24時間365日体制で
患者さんを受け入れています

救急車受け入れ
年間**2,682台**
2024年度実績

救急車の適切な利用は皆さまにお願いしたいといけませんが、一方で救急車を呼ぶことを躊躇して重大な状態になってしまうのは絶対に避けなければなりません。

・下記のような状態の際は、迷わずに救急車を呼んでください。

- ・意識がない、呼びかけに反応しない
- ・心臓や呼吸が止まっている
- ・胸の痛み・圧迫感が2～3分以上続く(心筋梗塞の疑い)
- ・突然の激しい頭痛、ろれつが回らない、顔の麻痺、手足のしびれ・力が入らない(脳卒中の疑い)
- ・支えなしでは立てないほどの急なふらつき
- ・激しい呼吸困難、息切れ
- ・吐血、大量の血便、意識障害を伴う激しい腹痛
- ・交通事故などでひどい怪我、頭部や胸部からの出血で止まらない場合
- ・けいれんが止まらない、または意識が戻らない

また判断に迷う際は、下記の相談窓口も併用して頂くと安心です。

●救急安心センター事業

📞 #7119

●子ども医療電話相談事業

📞 #8000

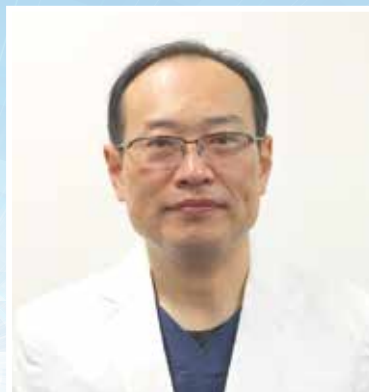
救急科

とくだ はやと
徳田 隼人 医師

専門分野 救急・救命

所属学会 日本救急医学会

資格 日本救急医学会専門医



救急車で来院された患者様の初期診療を主に担当しております。

臓器別の専門外来と異なり、救急科では急な症状に対して、幅広く緊急対応するのが役目です。当院のモットーである「断らない救急」を実践するため、各科専門医やスタッフと協働しています。時にはかかりつけの先生方や近隣医療機関とも連携し、皆様のお困りごとに対応して参ります。

どうぞよろしくお願い致します。



ナースカーについて

2025年11月より一部の協力施設を対象にナースカーの稼働を開始しました。ナースカーとは、施設から受診の依頼を受けた当院看護師が施設へ訪問し、患者さまを当院まで搬送する取り組みのことです。ナースカーの利用により受診時の送迎、診察中の付き添い対応など、施設職員皆さまの業務に関する負担の軽減が期待できると考えています。実際にナースカーを利用した施設職員の方々からは非常に好評なご意見を頂いております。地域の方々が安心して暮らしていけるよう、今後もナースカーの活動範囲を徐々に広げ、地域の医療と介護の連携強化に努めていきたいと思ひます。



町田看護副部長より



ナースカーは、地域医療・介護の切れ目のない支援体制の構築を目指し、地域での療養生活を支える一助となることを目的としています。当院看護師が直接施設へ向かうことで、より早期からの介入が可能となり、搬送中から当院外来と情報共有を開始することでスムーズに診療へつなぐことができています。そして何よりも施設職員の方々との顔の見える関係を築くことができています。これからも相談や協力体制を含め、柔軟に対応できるナースカー運用により一層努めていきたいと思ひます。現在は近隣の協力施設を活動範囲とさせて頂いていますが、より広い範囲での活用ができるよう検討を進め、患者さま、ご家族の方の安心につながるよう取り組んでいきたいと思ひます。

シマダ オータムマルシェ



初めての試みとなる「シマダオータムマルシェ」を10月19日(日)に開催しました。
来場者は300人を超え、大盛況となりました！ご来場頂きました皆さまに感謝いたします。

イベントは小郡に馴染みのあるお店の出展や体操、音楽演奏などご協力を頂く一方で、当院は病院見学ツアーや内視鏡スコープ体験イベント、ボディチェックや学生向けの就活イベントを行い、小さなお子様からご高齢者の皆様まで楽しんで頂けました。ぜひ来年も開催したいと思います♪



大刀洗ドリームまつり

大刀洗町で毎年開催されているイベントで、当院も毎年参加させて頂いています。

今回は骨密度装置と体成分分析装置(インボディ)を持参して、通常の健康診断では分からない骨の強さや、筋力の付き具合を測定できるイベントになりました。またステージでは、健康体操も披露してきました！ぜひ来年も参加します！



小郡グラウンドゴルフ

小郡グラウンドゴルフ協会は多くのご高齢者が楽しくグラウンドゴルフをされています。健康習慣として継続をして頂きたく、10年以上協賛させて頂いています。

先日の嶋田病院杯に当院の嶋田幸典院長も参加してきました！第一ラウンドは見事に敗退したそうですが(笑)、3回目でホールインワンが出た！と喜んでいました♪

みんなで楽しく活動できることが継続する秘訣だと思いますので、ぜひ今後も活動を支援させて頂きたいと思います。



本年も三が日はおせち料理をお作りしました。また、元旦の朝は嶋田会長からの年始の挨拶とともに、数の子や紅白なますなどを提供致しました。毎食、心を込めて準備しています。

(栄養管理部)



知っておきたい 緩和ケア

Vol.10

今回のテーマ

「医療費について」

吉永 敬士 (よしなが けいじ) 医師 | 担当科 緩和ケア / 外科



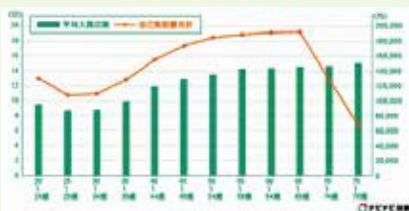
緩和ケア病棟

厚生労働省から「緩和ケア病棟」として承認を受けた病棟に入院して緩和ケアを受ける場合、医療費は定額制(治療内容に関わらず1日の医療費が一定額に決められている)となっています。

入院30日以内の場合、医療費は、1日5,107点(51,070円)または4,870点(48,700円)ですが、医療保険が適用されます。
※令和4年度診療報酬で計算しています。

急性期病棟

「令和2年度 医療給付実態調査報告書」によると、20歳～79歳までの平均入院日数は10～15日、1日当たりの自己負担額平均は11,000円前後となっています。



平均入院日数と自己負担額の合計

「緩和ケア診療加算」は、緩和ケアチームによる診療・援助が開始された時点から中止もしくは退院まで、1日390点(3,900円)が加算されます。

介護療養型医療施設

※「みんなの介護」より引用

要介護度	多床室	従来型個室	ユニット型個室
要介護1	2万580円	1万7,790円	2万1,180円
要介護2	2万3,430円	2万550円	2万4,030円
要介護3	2万9,460円	2万6,670円	3万60円
要介護4	3万2,100円	2万9,220円	3万2,700円
要介護5	3万4,380円	3万1,560円	3万4,980円
食費	4万3,350円(1,445円/日)		
居住費	1万1,310円(377円/日)	5万40円(1,668円/日)	6万180円(2,006円/日)
日常生活費	1万円		

※自己負担割合1割、1単位=10円で算出 ※上記の金額は30日換算で算出
※日常生活費は1万円と仮定

高額療養費制度:「経済的負担」を軽減するために知っておきたい制度

高額療養費制度とは、医療機関や薬局の窓口で支払った額※が、ひと月(月の初めから終わりまで)で上限額を超えた場合に、その超えた金額を支給する制度です。

※入院時の食費負担や差額ベッド代等は含みません。

関連動画はこちらです



日本緩和医療学会
公式YouTube
チャンネルより

シマダのチカラ

「シマダのチカラ」では嶋田病院を支えるスタッフを紹介していきます。

第28回

放射線技師 主任

井上 翔太さんにインタビューしました。

出身地 熊本県上天草市

勤務年数 13年目

趣味・特技・休日にしていること

休日は子供と過ごすことが多いです。
最近は博物館や図書館によく行きます。



Profile

井上 翔太さん

(いのうえ しょうた)

今まで働いてきた中でこれだけは忘れられない！
というエピソードがあれば教えてください。

CT装置更新時の事が特に印象に残っています。装置の入れ替え工事により1ヶ月程検査が出来なくなるためその期間はCT搭載バスでの撮影を行っていました。乗り降りはリフトを用いるため検査に要する時間は通常の何倍もありました。雨の日の深夜に傘を差して患者さんとリフトに乗ったのは貴重な経験でした。

24時間救急医療を提供する体制を維持するのは大変で重要なものであると改めて実感しました。

なぜこの職業に就こうと思ったのか教えてください。

初めは人体には有害だと思っていた放射線が検査や治療に用いられているということを知り興味を持ちました。

CT装置などの精密機器や画像診断について知るうちに自身も携わりたいと思うようになりこの職を志しました。

今後の目標を教えてください。

部署全体の検査効率向上とより質の高い画像提供を目標に取り組みます。また患者さんが安心して検査を受けられるよう丁寧な説明と負担の少ない迅速な検査を心懸けます。

11月14日は 世界糖尿病月間

あるいて学ぶダイアベティス(糖尿病) “そとでる”ウォーキング2025

日本糖尿病協会 理事長 清野 裕先生
嶋田病院 内科部長 赤司 朋之先生
タレント 井手らっきょ さん

ダイアベティス(糖尿病)ケアは、ひとりじゃない。
みんなで学んで楽しく歩こう！
オンラインでつながるダイアベティス(糖尿病)
ケアイベント運動で“笑顔”を取り戻そう！

患者さんやそのご家族、そして健康に関心のある全ての方に向けたYouTube番組です。ゲスト 井手らっきょさんを迎えてトークセッションやダイアベティスクイズ、健康維持のための知識やヒントをお届け 患者さんやそのご家族、健康に関心のある方々に向けて、実践的なアドバイスや 最新情報を分かりやすく紹介。

イベントの様子は
こちらから
ご視聴できます！



内科部長 赤司 朋之

学術活動[学会発表] 令和7年10月～12月

- 在宅・介護施設における高齢者のインスリン治療

日付 2025年12月7日 所属 診療部 発表者 赤司 朋之 学会 第37回実地医家のための糖尿病セミナー in 筑後

- 歯科・医科間の情報共有を促進する、糖尿病連携手帳活用の試み

日付 2025年10月31日 所属 診療部 発表者 伊藤 洋 学会 第63回日本糖尿病学会九州地方会

- 内製開発で始める生成AI要約システムの開発と活用

日付 2025年11月13日 所属 情報システム部 発表者 本間 翼 学会 第45回医療情報連合大会
(第26回日本医療情報学会学術大会)

- ERCPパス改訂後の効果検証

日付 2025年10月18日 所属 診療情報管理課 発表者 原田由香莉 学会 第25回日本クリニカルパス学会学術集会

- 当院ものわすれ外来継続通院患者の認知機能とBPSDの変化

日付 2025年11月7日 所属 リハビリテーション部 発表者 末次 亮平 学会 第59回日本作業療法学会

- その人らしさを尊重することとは

日付 2025年10月19日 所属 看護部 発表者 梅木 倫子 学会 第12回 第7回 九州支部学術大会
IN熊本(日本緩和医療学会)

- 経過中に過度な telescoping を生じた大腿骨頸部骨折術後 壮年期患者の理学療法経験

日付 2025年11月30日 所属 リハビリテーション部 発表者 藤田 俊英 学会 九州理学療法士学術大会2025 in 大分

診療実績	2025年9月	2025年10月	2025年11月
新入院患者数	313人	295人	279人
救急車搬入数	252人	219人	215人
初診紹介数	510人	541人	442人
紹介率	70.6%	70.0%	70.9%
平均在院日数	8.7日	9.0日	9.8日

法人理念

医療、介護、全人的ケアを通じて地域とつながり、私たちがかわるすべての人たちが安心と満足と幸せを感じる組織であり続けます。



ビジョン

1. 私たちは、救急・急性期医療と専門医療、予防医学、介護とケア、地域との連携により、良質なサービスを切れ目なく提供します。
2. 私たちは、地域の方々が安心して自分らしく暮らしていけるよう、治し癒し支える社会を創ります。
3. 私たちは、かわかる人たちがすべてが満足と幸せを感じ、私たち自身も夢を持ち輝ける組織になります。